# 「ひなもろこ」

令和４年度　第２号

福岡県立田主丸特別支援学校

http://fhtanuyo.fku.ed.jp/

令和５年　２月　２０日

発行者　　福岡県立田主丸特別支援学校長

担　当　　特別支援教育課　地域支援係



福岡県久留米市田主丸町石垣　１１９０-１

TEL 0943-73-1537　FAX 0943-72-4341


「ひなもろこ」…日本では、田主丸の川にのみ生息する久留米市の天然記念物です。

厳寒の候、皆様にはますますご健勝のことと存じます。

本校では、地域の皆様への特別支援教育の情報の発信や教育相談、研修協力等の地域支援を行っています。気になる子どもの課題整理や、個別の教育支援計画や指導計画等の具体的支援内容など、子どもに必要なサポートについて考えていきます。また、他の特別支援学校や専門関係機関との連携支援も進めていきます。子どもに応じた支援について一緒に考えていきましょう。

## 令和４年度　地域支援研修会報告

〔日程〕 令和4年8月9日（火）　10:00～12:00

〔場所〕 福岡県立田主丸特別支援学校　体育室

〔内容〕「肢体不自由のある子供の理解と指導　－感覚と運動の視点から考える学びへの支援－　」

講師：福岡県教育センター特別支援教育部　部長　熊川　宏昭　先生

本研修では、参加者から事前にアンケートで、日頃の指導での悩み事や質問を記入していただきました。

〇筋緊張が入った際に、力を抜く指導や、深い呼吸をするための効果的な指導について。

〇座った時に頭が倒れずに姿勢を保つことができるための効果的な指導について。

〇覚醒状態の低い子どもに対して、覚醒を高める指導、覚醒を持続する指導について。

などの肢体不自由のある子どもを指導する上での悩み事や質問に、熊川先生には一つ一つ実技を行いながら丁寧にお答えいただきました。

本研修を受けられた先生方からは、

〇疑似体験を通して、肢体不自由の子どものもどかしい思いや葛藤を、身をもって体験することができた。

〇教師として「動かそう」という思いを受け止め、動かす方法を、やりとりを通して上手く伝えられるよう、一層勉強に励みたい。

〇事例をもとに具体的にとても分かりやすく、自分が受けもつクラスの子と似ている部分も沢山あり、今後の支援の仕方にとても役立つ内容であった。

などの声をいただきました。子どもたちへのよりよい支援について考える機会となったのではないかと思っております。来年度も感染防止対策を行った上で、実施したいと考えております。

# アルテクを活用しましょう

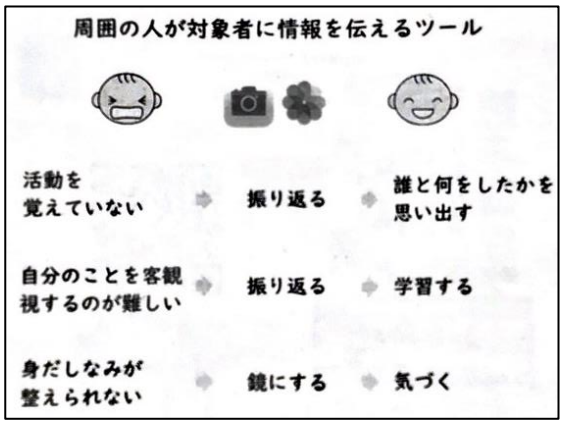
（株）LikeLab 管理者・作業療法士の髙橋知義先生をお招きして、校内研修会を行いました。

「タブレット端末を使った学習の手段や進め方」というテーマでお話しいただき、その中で「アルテク」という興味深い用語がありましたので、報告させていただきます。

アルテクとは、身の回りにあるテクノロジーのことです。特別支援教育においても ICT 活用が大きな広がりを見せている中で、身の回りにあるテクノロジーを活用することは子ども達の「できる」や「わかる」を促すことに繋がります。

アルテクの例として、タブレット端末の「カメラ機能」と「写真フォルダ」です。これらのアプリケーションを活用すると…

右の図のように、身の回りにある機器やアプリケーションの特徴を一つの視点からだけでなく色んな視点や角度から捉えることで様々な支援に活用することができます！




参考資料：令和４年度本校校内研修会配布資料　髙橋知義「タブレット端末を使った学習の手段や進め方」

# 遊びながら前頭葉を活性化

前頭葉は、脳の前方に位置する部分です。人間の行動を支える様々な役割を担っています。前頭葉の働きは、抑制（感情コントロール）、計画性（時間を期間把握）、記憶、想像、集中など多岐に渡ります。

前頭葉を活性化するには、様々な方法がありますが、その中で今回は、デュアルタスクトレーニングを紹介したいと思います。

デュアル（二重）のタスク（課題）では、二つ同時に課題をこなすことが必要になります。同時に処理することで前頭葉を活性化できます。

①お手玉をしながら②しりとりをする、①歩きながら②計算やクイズをするなど、①身体的な課題と、②認知的な課題を組み合わせると有効です。難し過ぎないように、子どもの実態に合わせて調整し、遊びながら楽しんでデュアルタスクトレーニングを行うことが大切です。

文責：特別支援教育課　地域支援係 鳥越